

令和5年度施行 特別区職員 III類採用試験【No.17】解説

1番目の数列は、3, 12, 48, 192, …で表されるので、初項3・公比4の等比数列である。

第8項までの和なので、公式にあてはめて計算しましょう。

$$S_8 = \{3 \times (4^8 - 1)\} \div (4 - 1) = 4^8 - 1 = 65536 - 1 = 65535 \quad \cdots(a)$$

2番目の数列は、17, 24, 31, 38, …で表されるので、初項17・公差7の等差数列である。

第40項なので、公式にあてはめて計算しましょう。

$$17 + 7 \times (40 - 1) = 290 \text{ (第40項)} \quad \cdots(b)$$

<40番目は「最初の17に7を39回足す」という形ですね。>

和を求めると、 $65535 + 290 = 65825$ となるので、正解は「4」。

(b) の計算を、

$$\begin{aligned} 17 + 7 \times (40 - 1) \\ = 10 + 7 + 7 \times 39 \\ = 10 + 7 \times 40 \\ = 290 \end{aligned}$$

 とした人はどれくらいいるかな？

//////////
 ちょっと待って、「等比数列の和の公式なんか覚えてませんよ」という人は正解できなかといふと、そうではありません。

1番目の数列は、高々8番目まで求まればいいので書き出しましょう。

$$3, 12, 48, 192, 768, 3072, 12288, 49152 \text{ (第8項)}$$

これらを全部足せばいいのです。

$$3 + 12 + 48 + 192 + 768 + 3072 + 12288 + 49152 = 65535 \quad \cdots \text{前述の } S_8, (a) \text{ と同じ}$$

この65535に(b)の290を足せば65825となり、正解は「4」。

//////////
 もっと簡単にしましょう。

選択肢1~5の1の位はすべて異なっていますね。ということは、和「65825」を求めることが絶対に必要というわけではなく、和の1の位が求まればいいんですよ。

この方法が一番簡単！

1番目の数列の1の位は、初項から順に4倍していくと、

$$3, \sim 2, \sim 8, \sim 2, \sim 8, \sim 2, \sim 8, \sim 2 \text{ (第8項)}, \dots$$

1の位だけ合計して、

$$3 + 2 + 8 + 2 + 8 + 2 + 8 + 2 = 35$$

35の1の位「5」と290の1の位「0」を足して「5」。

1の位が「5」になっているのは「65825」だけなので、正解は「4」。

条件が第8項までではなく、
 第100項までの和になっていたらどうする？和そのものは計算しなくても、和の1の位は「5」ですね。大丈夫かな？